

# ダイビング器材お手入れ方法

ダイビングは器材に頼るスポーツ！

だからこそ定期的なお手入れは大変重要です！！

## オーバーホールって何？

お手入れ方法には、2つあります。「メンテナンス」と「オーバーホール」があります。前者が、皆さん自身が現地や自宅で行う「持続、維持、保全」を目的にした方法。

(水で洗ったり、乾かしたり・・・)

後者が、**プロ**が行う「徹底的に点検、整備、分解修理」を目的とした方法です。

(劣化した部品を交換、耐圧検査、ホースの点検 etc・・・)

ダイビングの器材の保全という意味では、自身が使用前、使用後にできる手入れと、定期的にショップに出して**プロ**に手入れしてもらう、二通りに分かれます。

## オーバーホールしたらどうなるの？

ダイビングの重器材は、機械です。それなりに手入れしてやらなければ、十分に機能しません。部品は必ず老化するもの、長く使うためにはダメになった部品を取り替える必要があります。特にダイビング器材は、海水の中という、厳しい条件下で使われます。にもかかわらずユーザーができる手入れは、ほとんどが外側だけ・・・。

オーバーホールを怠ると**突然動かなくな**ったり、**内部にカビ**が増幅したりして不快感を感じてしまうわけです。

また、海で使用していないとあって、オーバーホールの必要がないわけではありません。

部品の老化は、たとえ使わなくても進行します。

特にレギュレーターなどは、微妙な調整を必要とします。使用頻度が少なく普段メンテナンスをしっかりとっている人でも最低1年に1回、よく使っているなら数ヶ月に1回の割合でオーバーホールをする必要があります。

ダイビング器材は、我々ダイバーにとって、**命を預ける**大切なものです。

安全と快適さを考えると定期的なオーバーホールは、最低年1回は欠かさないようにしましょう。

オーバーホール事例



Before



After

お問い合わせは、ダイビング担当まで。